

各位

2022年 年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます。

旧年中は一方ならぬご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の日本経済は、新型コロナウイルス感染が10月頃から下火になったものの、原油を始めとする原材料価格の高騰の影響もあり、先行きが不透明な状況下での年越しとなりました。

当社は、昨年を最終年度とする3か年の中期経営計画「New Stage 2021」の計画期間中、主要戦略として掲げた『海外事業拡大・新事業構築に向けた施策の実施』に努めてまいりました。

まず、海外事業に関しては、中国・台湾を中心に粘着剤事業を展開している台湾の連結子会社 新綜工業の新工場竣工に加え、中国張家港工場における増設工事を完了させて生産能力を拡充しました。ベトナムに設立した『SEIKO PMC VIETNAM CO., LTD.』の工場建設は、当地におけるコロナ感染拡大の影響で遅延を余儀なくされておりますが、対策を講じながらの工事を鋭意継続し、操業開始に向けて尽力しております。尚、新綜工業については、昨年11月に発表した追加株式取得により持ち株比率を92.8%まで高め、一層の事業基盤強化を図っていく所存です。

また、新事業構築関連では、2020年8月に、NEDO（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）が公募した「炭素循環社会に貢献するセルロースナノファイバー関連技術開発」研究開発項目①「革新的CNF製造プロセス技術の開発」の助成先として当社が採択され、現在、設備投資を実施しております。

業績面では、昨年度は新型コロナ禍および原材料価格の高騰という厳しい環境下ではありましたが、グループが一丸となって業績向上に努めた結果、中期経営計画で設定した当初目標には僅かに及ばないものの、過去最高の売上高および営業利益を達成できる見通しであります。

本年度につきましても依然不透明な環境は続くと思われませんが、本年より新たな中期経営計画をスタートさせ、前中計「New Stage 2021」から継続する課題を確実に遂行するとともに、新テーマに挑戦することで、更なる事業基盤の強化・拡大にチャレンジしてまいります。

加えて、昨年11月末に東証に提出いたしました「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」に記載の通り、流通株式時価総額向上に向けた取り組みを実施し、新中計の最終年度末である2024年12月末までに、プライム市場への上場維持に必要な基準の安定的な充足を目指してまいります。

本年度も、当社の経営ビジョンである「エコテクノロジーで未来を創る ～Explore the Future through Eco-friendly Technology～」を実践し、更なる飛躍を目指してグループ全社員が一丸となり、全てのステークホルダーの皆様のご期待に応えてまいる所存であります。

今後とも倍旧のご支持を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本年が、皆様にとって幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

2022年 元旦



星光PMC株式会社

代表取締役社長

滝沢 智

